

言葉の単位：大きい順に、文章↓段落↓文↓文節↓単語という。

文章：文が集まって一つのまとまった内容を表したものの。

段落：長い文章の中の、内容によるひとつのまとまり。

- ① 形式段落：行を改めて、書き出しを一字下げて書いたまとまり。
- ② 意味段落：形式段落を意味の上からまとめたもの。

文：まとまった考えなどを述べたひと続きの言葉。終わりに句点（。）を打つ。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

- ① しばらくのち茶店を出てきしなに、巻きたばこを耳に挟んだ男は、(そのときはもう挟んでいなかったが) トロッコのそばにいる良平に新聞紙に包んだ駄菓子^{だかし}をくれた。良平は冷淡に「ありがとう。」と言った。が、すぐに冷淡にしては、相手にすまないと思直した。彼はその冷淡さを取り繕う^{つくろ}ように、包み菓子の一つを口へ入れた。菓子には新聞紙にあつたらしい、石油の臭いが染み付いていた。
- ② 三人はトロッコを押しながら緩い傾斜を登っていった。良平は車に手を掛けていても、心は他のことを考えていた。
- ③ その坂を向こうへ下り切ると、また同じような茶店があった。土工たちがその中へ入った後、良平はトロッコに腰をかけながら、帰ることばかり気にしていた。茶店の前には花の咲いた梅に、西日の光が消えかかっている。
- 〜芥川龍之介『トロッコ』

① 右の文章はいくつの形式段落から成り立っていますか。漢数字で答えなさい。

三

② 右の文章はいくつの文から成り立っていますか。漢数字で答えなさい。

十

二次の文章を二つの段落に分けるとしたら、どこで改行しますか。二段落目の初めの五字を書きなさい。

ボクは一ヶ月前に東京からこの町に引っ越してきた。お父さんの会社が新しくこの町に工場を建て、その工場長にお父さんが選ばれたのだ。お父さんはとてもうれしそうだったし、お母さんも喜んでいた。だが、ボクはサッカーチームをやめないといけなかったし、親友のはるとや健太郎と別れることが、もっと嫌だった。でも、そんな気持ちはお父さんやお母さんには言えなかった。転校して少したったある日のこと、ボクは休み時間に一人で席に座って本を読んでいた。サッカーを一緒にする相手もないし、一人でいるほうが気楽だったからだ。しかし、そんなボクに話しかけてきたのが、隣の席に座っていた西川くんだった。西川くんは、いかにも勉強ができそうなタイプに見えた。

転校して少

一段落目は引っ越しのいきさつとそれに対する「ボク」の気持ち。
二段落目は引っ越ししてからの出来事。

